

先着50名
事前申し込みが
必要です

第2回 里山を考える 研究会

2020年 3月19日(木)

会場
星の里いわふね
【交野市私市】

近畿地方に甚大な被害をもたらした2018年の台風21号。その後も極端な気象による被害が各地で起きています。多様な分野の専門家とともに、これからの里山とのかかわり方を模索します。

研究会

12:30~16:00 研修室2 [2階]

参加費 無料

第1部 講演 12:30~14:10

開会挨拶 大阪市立大学理学部附属植物園長 山田敏弘

「台風被害から見る里山林・都市近郊林管理の新たな課題」 松本光朗 (近畿大学 農学部 教授)

「里山にひそむケモノたち~大阪府内の獣害状況~」

幸田良介 (大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター 主任研究員)

「木質系廃棄物の資源化及び有効活用の取り組みー地産地消事業の実践ー」

井戸央至/辻元真由子 (TJグループホールディングス株式会社 取締役)

第2部 自治体や市民団体からの報告 14:30~16:00

台風被害をはじめ、里山が抱える問題について広く情報を交換

閉会挨拶 大阪市立大学理学部附属植物園長 山田敏弘

交流会(茶話会)

16:10~17:10 研修室1 [2階]

参加費(実費相当) ¥1,000

お申込み方法:メールにて、(1) お名前、(2) 住所、(3) 電話番号、(4) 差し支え無ければ職業、(5) 交流会への参加希望の有無、をメール本文に記載し、メールの件名を「公開研究会参加希望」として、b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp へお送りください。

☆ お問い合わせ:大阪市立大学理学部附属植物園 電話072-891-2059

主催:大阪市立大学理学部附属植物園
共催:大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター
協力:交野市